



わたぼうし つうしん



**わたぼうし
病児保育室**
塚田こども医院
(保育室専用電話)
025-544-7779

日差しが陽気な、心地よい季節になりました。
入園や進級をして1カ月がたち、子どもたちは
疲れがたまってくるころかと思います。

わたぼうしには集団生活の「洗礼(?)」を
うけて入室されるお子さんがふえてきました。
慣れない環境で頑張っている子どもたち。
GWはゆっくり過ごして、じも体も
リフレッシュしたいですね!!



春の大型連休。皆さん、どん
なふうに過ごしているかな。新
年度に入って疲れも出ているこ
とでしょう。ゆっくり過ごして
ください。

裏面に昨年度の活動をまとめ
ました。お読みください。

総人数は4,000人を超えまし
た。ご利用いただいている方々
に御礼申し上げます。

これからも病児保育を推し進
めてまいります。どうぞよろし
くお願いします。(院長)



おしらせ

- ◎ マイナ保険証をお持ちの方
わたぼうしご利用の際は 毎回
医院受付にある端末で読みとり
してください。(入室時、お迎え時
どちらでも構いません。)
- ◎ 資格確認書をお持ちの方
受け入れ時にご提示ください。
お手数おかけしますが、よろしくお願ひ致します。

お薬について

- お自分のお薬を持参される際は
1包ずつ切り離し、お名前を記入して
朝の受け入れ時にお渡しください。
(水剤は元のままお持ち下さい大丈夫です)
- お預かり中、お子さんの症状や状態に
よっては、素熱冷ましを使用する場合も
あります。坐薬や屯服などお手元
にありましたらお持ちください。

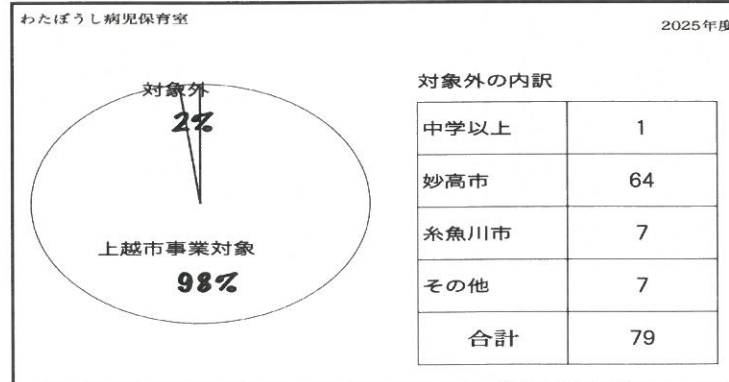
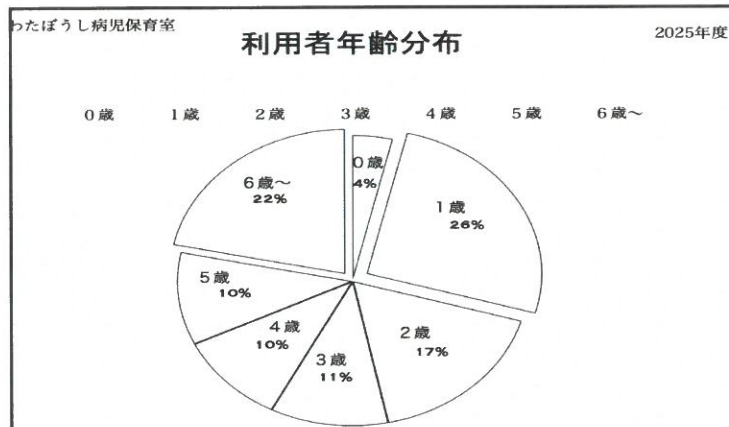
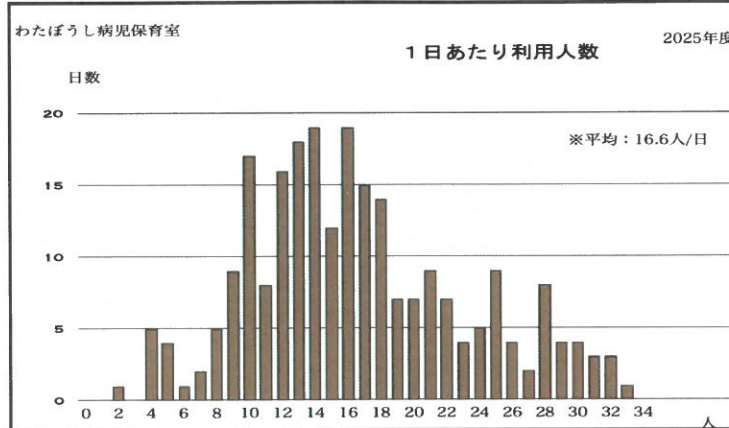
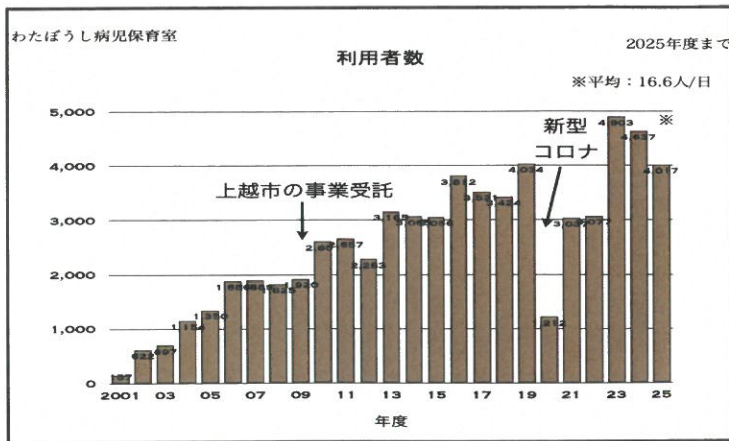


先月のまとめ

利用者数(21日間) 261名 (一日あたり4~19名)
(うち上越市病児保育事業対象 259名) (平均 12.4名)
現在の登録者数 2382名
入室初日の病状: 急性期 105件、回復期 46件

感冒	感染性胃腸炎	インフルエンザB
RSウイルス	溶連菌感染症	マイコプラズマ
マイコプラズマ疑い	ヒトメタニューモウイルス	喘息性気管支炎
周期性発熱	RSウイルス(臨床診断)	嘔吐症
感冒性下痢症	急性胃腸炎	突発性発疹
水痘	下痢症	溶連菌感染症(臨床診断)
薬疹		

わたぼうし病児保育室の現況



2025年度

年間保育日数	242
年間利用者数	4017
平均利用者数	16.6
年度末登録者数	2400

●年間の利用者数は3年連続で4,000名を超えました。新型コロナウイルスの流行した2020年度は利用者が激減。前年度比で3分の1ほどに。その後感染症の流行が徐々に始まり、次第に増加。2023、24年度はかつてないほどの利用がありました。2025年度はやや減少し、コロナ流行の前に近づいたようです。

●平均は16.6人ですが、一年を通して見ると限りなくゼロに近い日がある一方で、定員（35名）に近い日もあります。できる限り受け入れるという方針にそって運営されています。

ちなみに、多くの病児・病後児保育施設では定員が10名以下であり、当施設が「超」がつくほどの大規模であることがわかります。

●最も多いのが1歳児で、半数が未満児です。0歳はまだ保育園に入っていない子どもが多いと思います。入園して集団生活が始まると、子どもは感染症を受けやすくなります。ある程度が過ぎると、次第に風邪などを引く回数が減っていくことでしょう。

1歳児が多いということは、保育士の負担が大きいということです。おんぶに抱っこ。疲れませぬ。ご苦労様です。

●上越市の病児保育事業は生後半年から小学生までが対象です。それを超える方や、上越市以外に住所がある方はその対象外です。当施設では、それらの方も積極的に受け入れています。

ちなみに、個人負担は上越市の制度と同じく2,000円です。この部分については公的な助成がないので、全くの赤字です（涙）。

●わたぼうし病児保育室は2001年度に開設し、今年で25年になります。その時々でいろんなことがありましたが、ご利用された方々の「ありがとう」の言葉に支えられてきました。

上越市からは全国の制度を超えて助成をいただいています。厚く御礼を申し上げます。